

## 日露都市環境分野における次官級会合の開催結果について

国土交通省は、5月16日(月)にモスクワにおいて、西脇国土交通審議官が出席して、「第5回日露都市環境問題作業部会総括会合(次官級会合)」を開催しました。

本会合では、都市環境分野の日露協力案件のさらなる進展に向けた課題について双方で共有するとともに、先般の日露首脳会談を踏まえ、ロシア側のニーズと日本の技術をマッチングを推進するため、本作業部会のもとに、“Quality Infrastructure Dialogue”を設置することとし、今夏以降にロシアの中核都市にて開催することとしました。

1. 日 時 平成28年5月16日(月)
2. 場 所 ロシア連邦 モスクワ市 建設・住宅公営事業省
3. 主な出席者

日本側： 西脇 国土交通審議官(共同議長)ほか 民間企業

ロシア側： チビス ロシア連邦建設・住宅公営事業省次官(共同議長)ほか ロシア連邦構成主体、民間企業

4. 会合の結果

- ①都市環境分野における協力案件の最近の進展の確認

日露首脳会談における協力プランの中に「快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り」が位置づけられていることを双方で確認しつつ、フラッグシップ事業<sup>1</sup>をはじめとする都市環境分野における協力案件について、日露双方の企業から報告を行い、進展状況を確認した上で、更なる進展に向けた課題について議論し、解決に向けた道筋についての認識を共有しました。廃棄物処理分野に取り組む2つの事業について、新たにフラッグシップ事業として特定しました。

＜新たにフラッグシップ事業に特定された事業＞

- ①流動床式ガス灰溶融技術の普及・現地化
- ②モスクワ圏における統合的ごみ処理及び循環産業育成

- ②「Quality Infrastructure Dialogue」の設置に合意

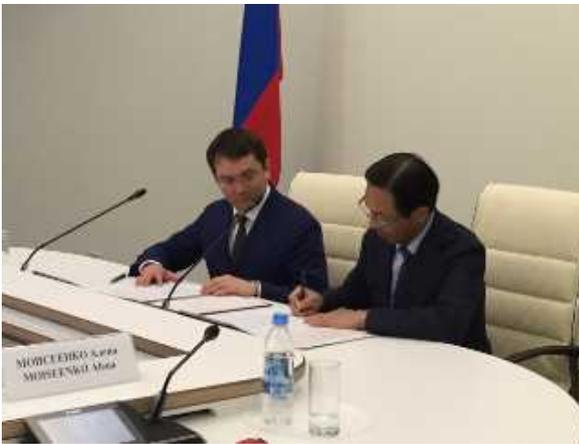
政府間対話によるロシア側ニーズの掘り起こしと日本側シーズのマッチングを図るために、本作業部会における新たな枠組みとして、「Quality Infrastructure Dialogue」を設置することに合意しました。

今年夏以降に、地方中核都市において、「Quality Infrastructure Dialogue」を実施して、秋以降、実務者会合並びに総括会合を開催することを確認しました。

<sup>1</sup> 2015年6月に開催された第3回総括会合で日露両政府が共同で支援する事業とすることを決定した事業



総括会合(ロシア連邦建設・住宅公営事業省内大会議室)



議事録の署名



日露企業間によるMOUの手交

**【問い合わせ先】**

総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 田中、坂本

電話:03-5253-8111(内線:25226、25227)

夜間直通:03-5253-8314 FAX:03-5253-1562